

講義科目名称： 基礎看護学援助論Ⅱ

授業コード： 6630200300

英文科目名称： Advanced Fundamental Nursing Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎岡村 典子			
添付ファイル			
授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間	
	【担当教員】 【氏名】 ◎岡村 典子	【所属】 新潟県立看護大学	
	【本学の科目区分】 専門分野		
到達目標	基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて、今後の展望、及び課題克服に向けた研究方法について探究する。また、看護実践における研究の必要性について理解する。		
授業概要	基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて、今後の展望、及び課題克服に向けた研究方法について検討する。今後の展望については、対象のQOLの向上、及び看護の質向上を念頭に検討する。また、研究方法については、基本的な理解とともに、文献の講読およびクリティークを通して理解を深める。さらに、看護実践と研究の関係、及び研究の必要性について検討する。		
授業計画	<p>1-8 授業内容 授業形態：講義・プレゼン・討論 学習課題：基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて、今後の展望を検討する 学習内容：今後の展望を検討する視点 ・対象のQOLの向上 ・看護の質向上 備考：岡村</p> <p>9-12 授業内容 授業形態：講義・プレゼン・討論 学習課題：基礎看護学援助論Ⅰにて取り組んだテーマについて、課題克服に向けた研究方法を検討する 学習内容：・取り上げた研究方法の基本的理解の確認 ・取り上げた研究方法を用いた文献の講読、クリティーク 備考：岡村</p> <p>13-15 授業内容 授業形態：講義・プレゼン・討論 学習課題：看護実践と研究 学習内容：1-12回の内容を踏まえ、下記の点を検討 ・看護実践と研究との関係 ・看護実践における研究の必要性 備考：岡村</p>		
事前・事後学習	事前学習：基礎看護学援助論Ⅰにて学修した内容を振り返る。 事後学習：看護実践と研究の関係を踏まえ、実践の中から研究課題を見出す。		
評価方法、評価基準	レポート 50%、課題資料・プレゼンテーション 30%、授業への参加状況 20%により評価する。		
テキスト	特定のテキストは使用しない。		
参考図書・資料等	参考文献・資料は、各自が検索・収集する。		
受講、課題、資料配布等のルール	初回開講時に説明する。		
教員からのメッセージ	基礎看護学援助論Ⅰにて各自が取り組んだテーマについて、さらに深めるとともに、その過程を通して看護実践と看護研究の関係について理解を深めましょう。		
オフィスアワー	事前にメールにて問い合わせ。		